

2022年3月期 第3四半期
決算説明資料
2022年1月31日

株式会社ゼンリン

1. 2022年3月期 第3四半期決算概要
2. 2022年3月期 通期業績予想
3. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競争状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2022年3月期 第3四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高

1-1) 決算概要

2022年3月期 第3四半期決算のポイント

前年同期比【増収増益】

■売上高は、3期ぶり増収

- ・オートモーティブ事業でカーナビゲーション用データ販売が前年同期を上回って推移
- ・プロダクト事業で住宅地図データを活用した受託案件やストック型サービスのGISパッケージが堅調に推移
- ・広告需要が回復傾向にあることなどを背景にマーケティングソリューション事業の売上が増加

■損益面では、増収および投資有価証券売却による特別利益の計上等により、各利益とも黒字転換

(金額単位:百万円)

	2020年3月期 3Q実績	2021年3月期 3Q実績	2022年3月期 3Q実績	2020年3月期 同期比		2021年3月期 同期比	
					増減率(%)		増減率(%)
売上高	40,316	38,429	39,990	△325	△0.8	1,561	4.1
営業費用	40,782	40,149	39,928	△853	△2.1	△220	△0.5
営業利益	△466	△1,719	61	527	—	1,781	—
営業利益率	△1.2%	△4.5%	0.2%	1.4pt		4.7pt	
経常利益	△160	△1,482	321	482	—	1,804	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	236	△758	2,067	1,830	773.4	2,826	—

※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用している為、これまでの計上方法と比較し、当第3四半期の売上高は554百万円、売上原価は535百万円減少しております。
営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

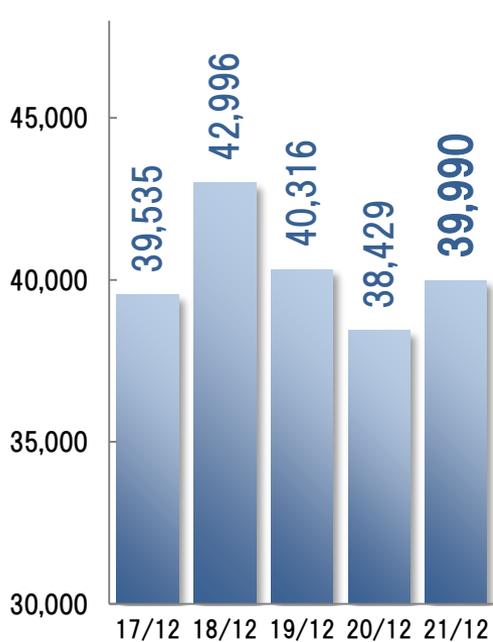
※ 前期(2021年3月期)以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用していない為、増減率は参考値です。(次ページ以降同様)

1-2) 売上高・利益の推移

前年
同期比

売上高

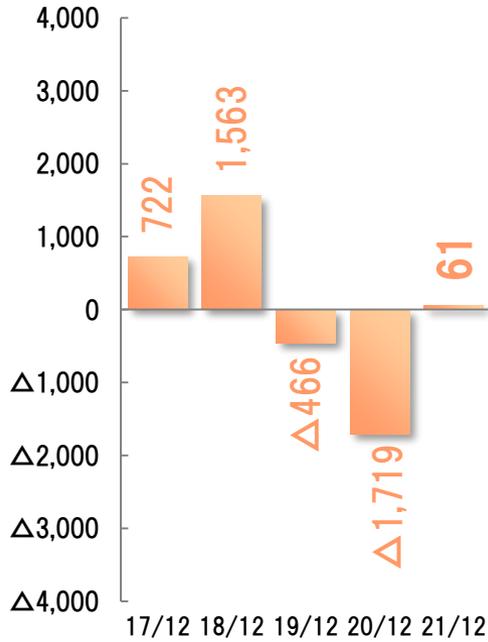
1,561増加 (+4.1%)



3期ぶり増収

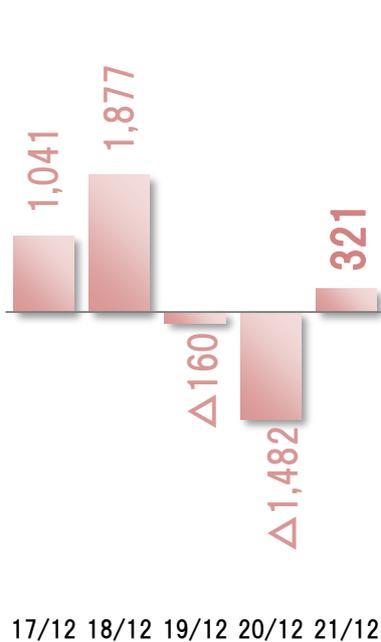
営業利益

1,781増加 (-)



経常利益

1,804増加 (-)



親会社株主に帰属する 四半期純利益

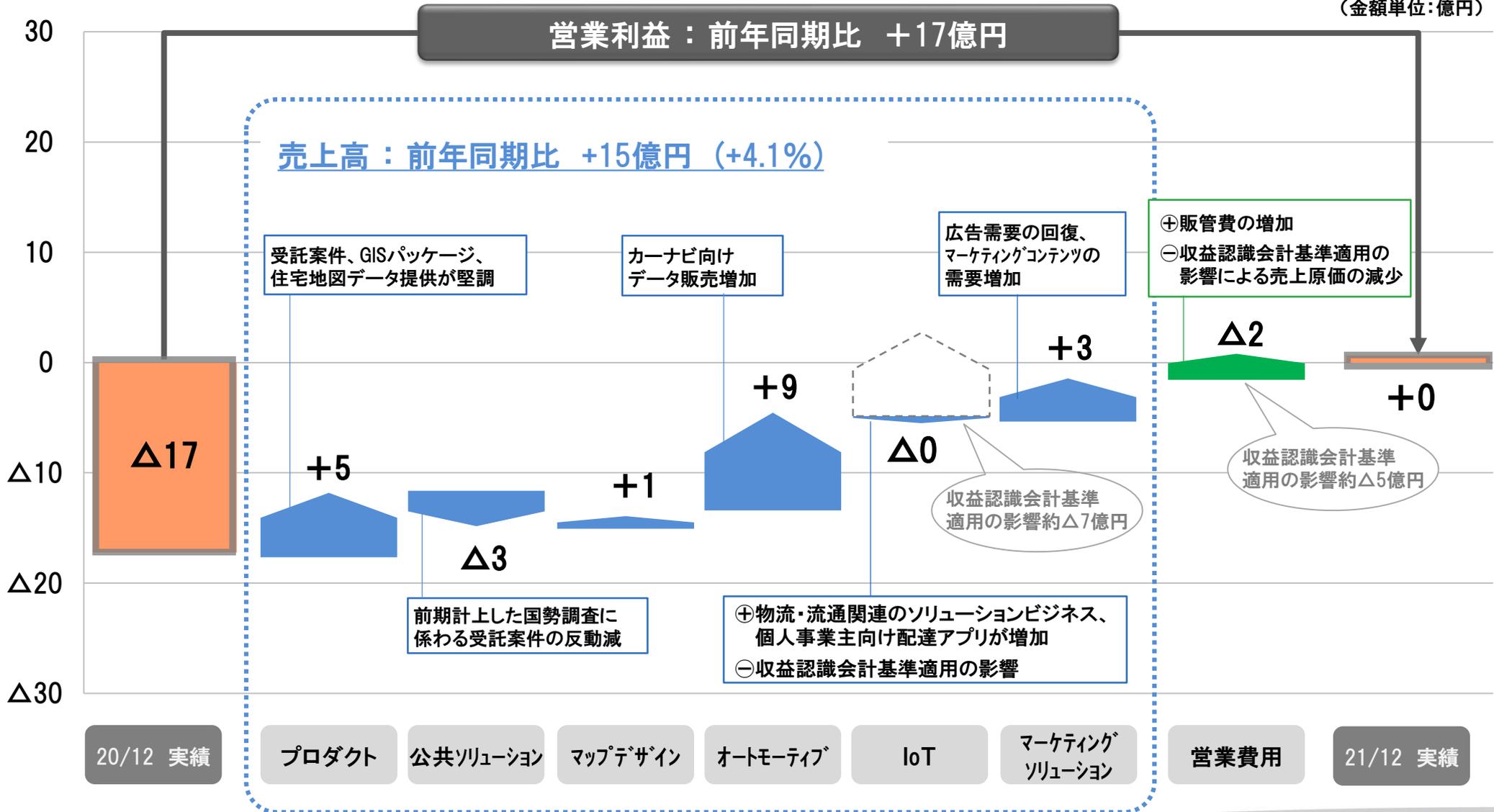
2,826増加 (-)



前期損失 → 黒字化

1-3) 営業利益増減要因

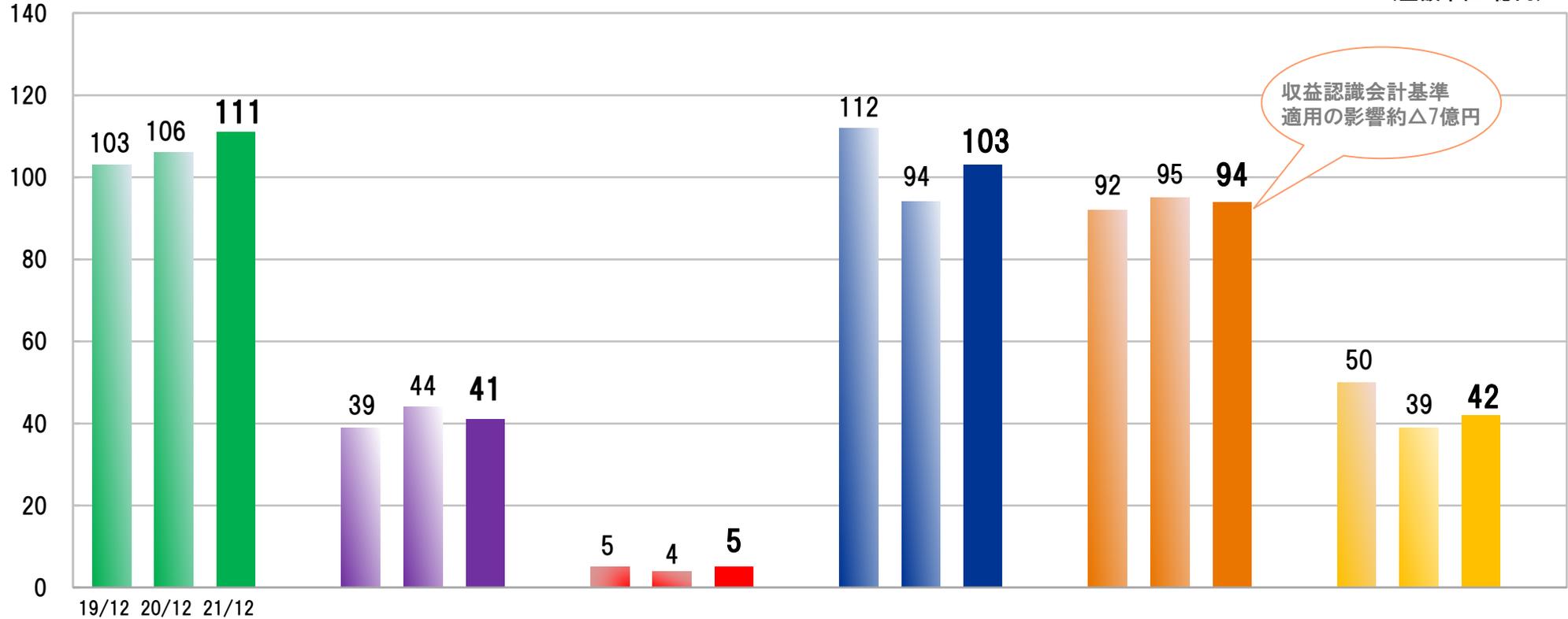
(金額単位: 億円)



1-4) 中長期経営計画(ZGP25)で区分した事業別売上高

2022年3月期 第3四半期決算

(金額単位: 億円)



収益認識会計基準
適用の影響約△7億円

前年同期比	プロダクト	公共ソリューション	マップデザイン	オートモーティブ	IoT	マーケティングソリューション
	+5 (+5.2%)	△3 (△7.4%)	+1 (+26.4%)	+9 (+10.0%)	△0 (△0.9%)	+3 (+9.4%)

2. 2022年3月期 通期業績予想

- 1) 通期業績予想 (2021年12月17日修正)
- 2) 通期業績予想 事業別売上高

2-1) 通期業績予想

2022年3月期 通期業績予想について

【前期比 増収増益】(2021年12月17日修正)

- 当第3四半期連結累計期間においては、売上高が計画より好調に推移したものの、世界的な半導体不足及びオミクロン感染拡大によるカーメーカーの生産調整の影響等、先行きが不透明であることから、売上高は期首発表予想値を据え置く
- 損益面では、営業活動の効率化や生産性向上等の取り組みによる費用低減効果及び投資有価証券売却に伴う特別利益の計上等により、期首発表予想値を上方修正
- 2022年3月期期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用している為、通期連結業績予想における売上高は、前期までの計上方法と比較して10億円程度減少する見込み（損益への影響は軽微となる見込み）

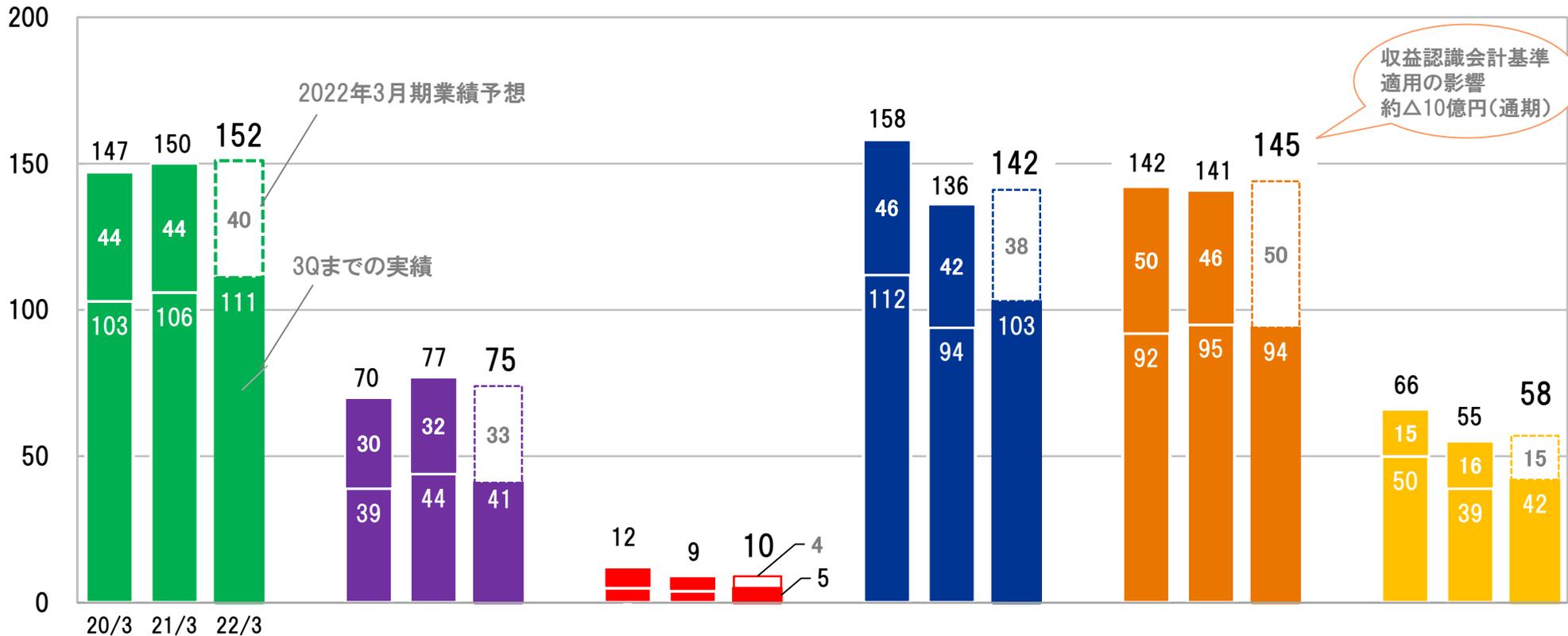
(金額単位:百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	期首業績予想 (2021/4/28)	2022年3月期 業績予想 (2021/12/17修正)	2020年3月期比		2021年3月期比		期首業績予想比	
						増減率(%)		増減率(%)		乖離率(%)
売上高	59,771	57,225	58,200	58,200	△1,571	△2.6	974	1.7	—	—
営業費用	56,470	55,789	56,500	55,900	△570	△1.0	110	0.2	△600	△1.1
営業利益	3,300	1,436	1,700	2,300	△1,000	△30.3	863	60.1	600	35.3
営業利益率	5.5%	2.5%	2.9%	4.0%	△1.5pt		1.5pt		1.1pt	
経常利益	3,709	1,683	1,900	2,500	△1,209	△32.6	816	48.5	600	31.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,633	1,248	1,300	3,400	766	29.1	2,151	172.2	2,100	161.5

2-2) ZGP25で区分した事業別売上高

事業別売上高は、2021/4/28発表予想値を据え置く

(金額単位：億円)



前期比	プロダクト	公共ソリューション	マップデザイン	オートモーティブ	IoT	マーケティングソリューション
	+1 (+0.8%)	△2 (△3.3%)	+0 (+0.7%)	+5 (+3.8%)	+3 (+2.2%)	+2 (+5.0%)

3. Appendix

- 1) 2022年3月期 第3四半期決算概要
 - ・設備投資額・減価償却費・研究開発費
 - ・四半期売上高構成比推移

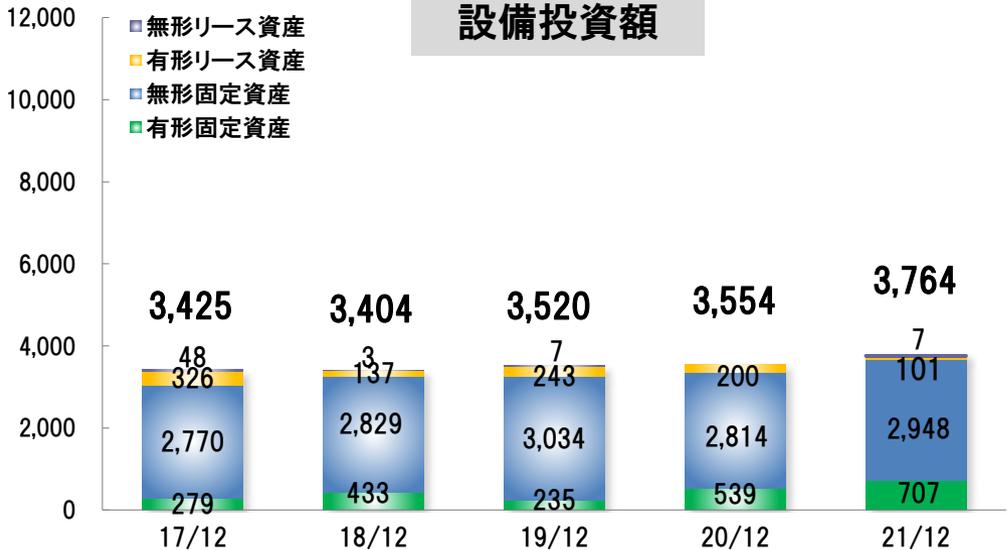
- 2) 2022年3月期 通期業績予想（2021年12月17日修正）
 - ・売上高・利益の推移
 - ・設備投資額・減価償却費・研究開発費

- 3) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

3-1) 第3四半期決算概要 (設備投資額・減価償却費・研究開発費)

(金額単位:百万円)

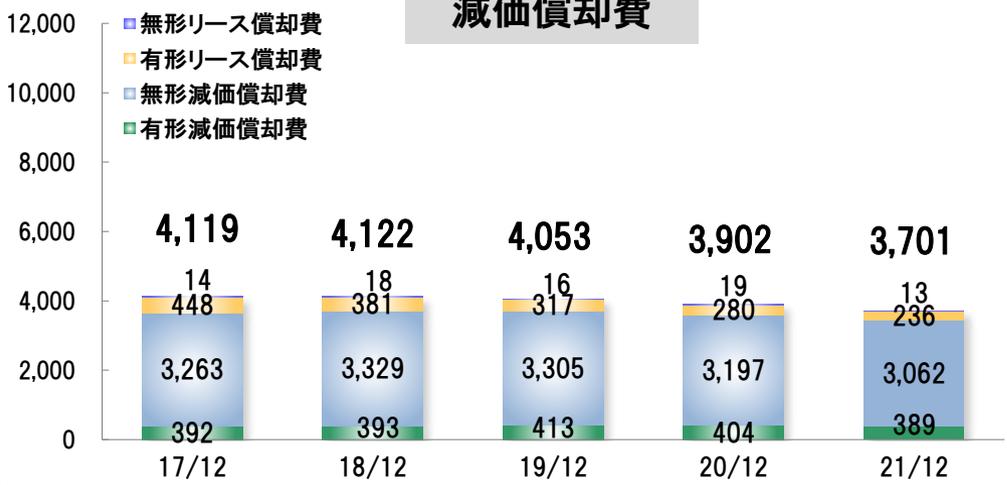
設備投資額



研究開発費

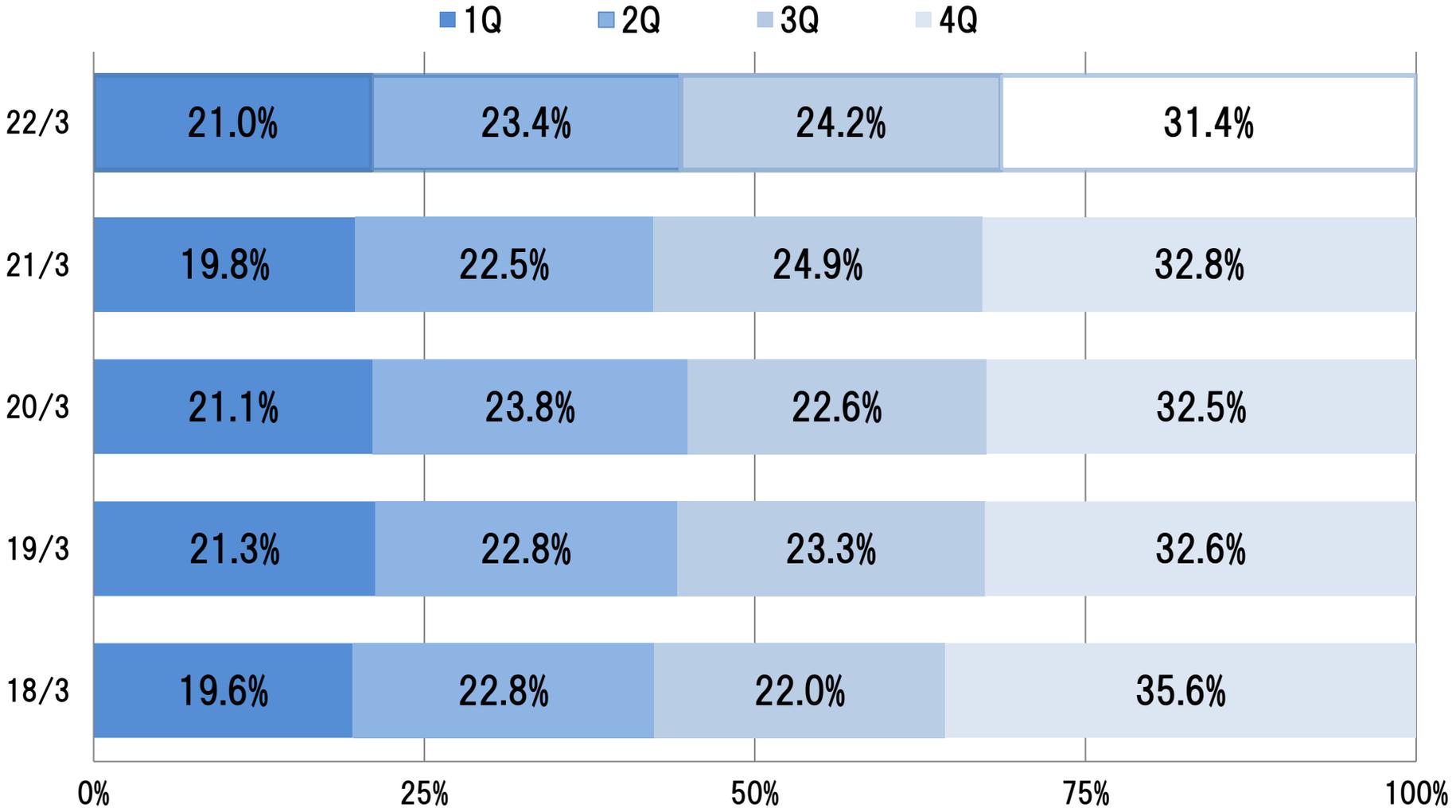


減価償却費

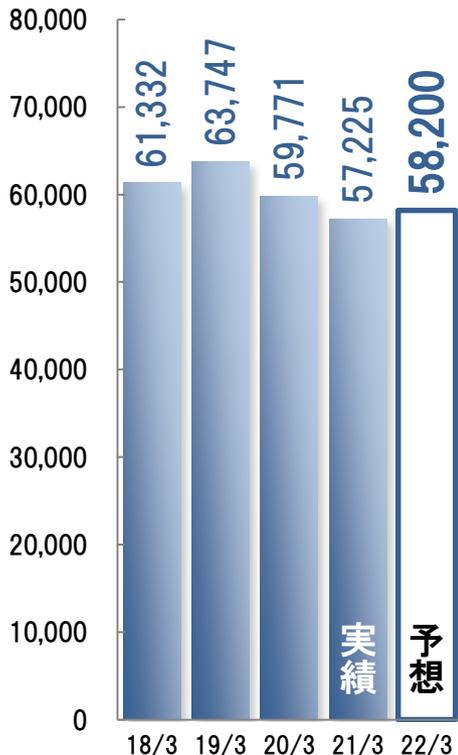


3-1) 第3四半期決算概要 (四半期売上高構成比推移)

2022年3月期 第3四半期決算

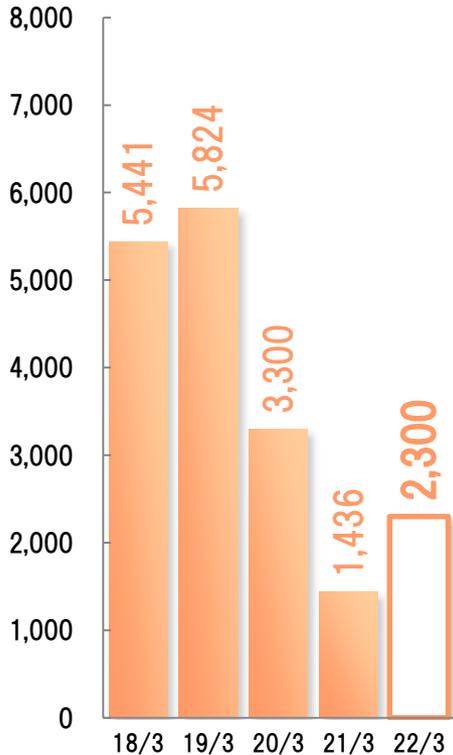


売上高



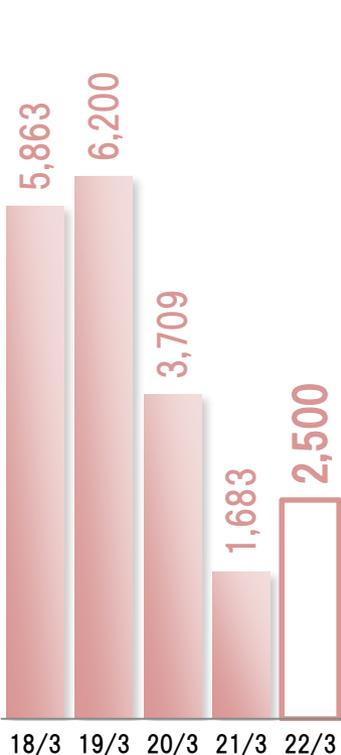
3期ぶり増収

営業利益

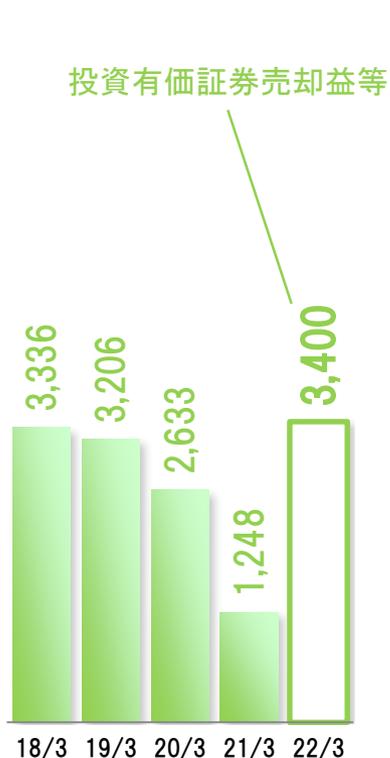


3期ぶり増益

経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益

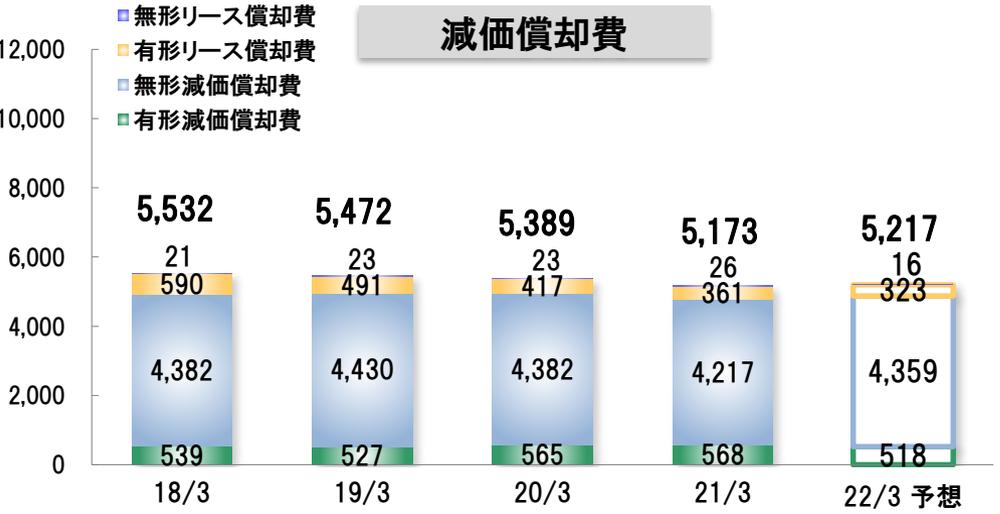
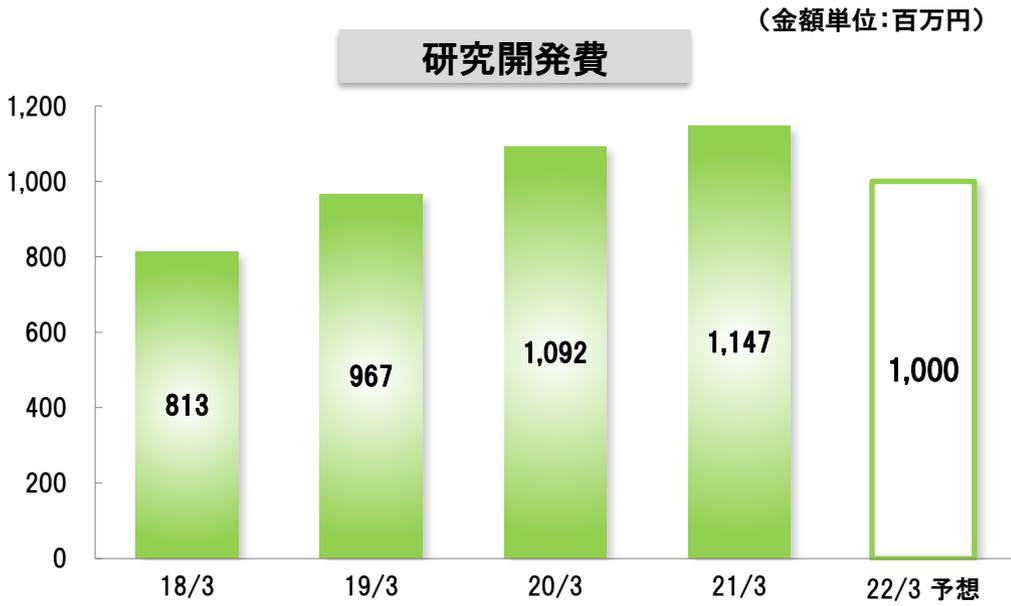
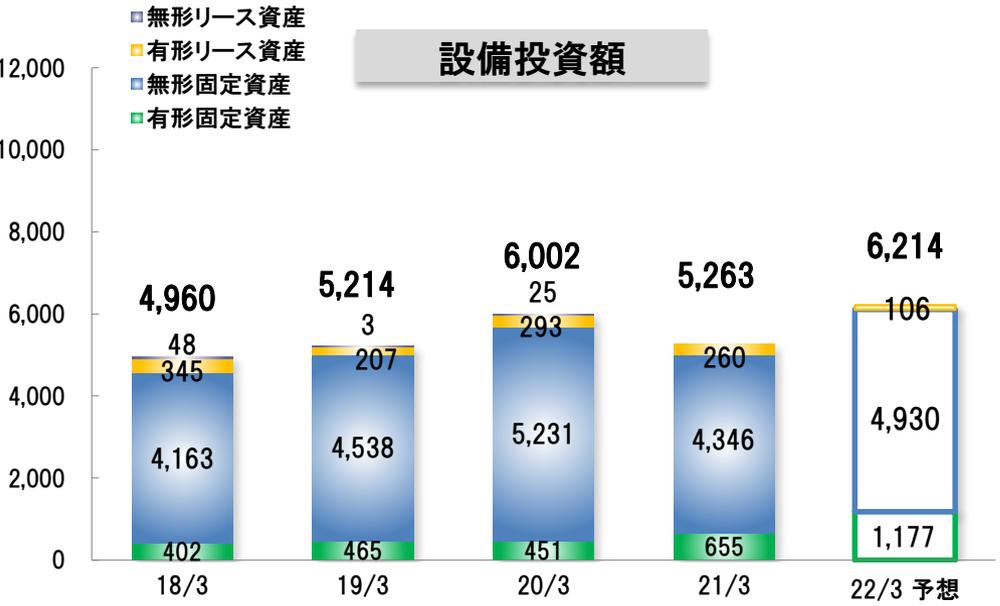


4期ぶり増益

※2021/12/17修正予想

3-2) 通期業績予想 (設備投資額・減価償却費・研究開発費)

(金額単位:百万円)



設備投資、研究開発費は
例年同水準を維持

3-3) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

2022年3月期 第3四半期決算

【1Q】

リリース日	タイトル
4月5日	コーポレートベンチャー投資ファンド「ZFP第1号投資事業有限責任組合」を設立（当社、ZFP）
4月16日	建設業界におけるBIM/CIMの業務効率化を支援する「ゼンリン 3D地図データオンライン提供サービス」に新機能登場
4月19日	エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社と業務提携
4月20日	“道の駅を記録し、記憶に残す” 新サービス「道ゆき」4月22日（木）より提供開始
4月21日	各業種の業務を効率化する地図配信サービス「ZENRIN GISパッケージ」シリーズが続々リニューアル
5月14日	ゼンリンの時空間データベースを活用したAPI「ZENRIN Maps API」にて新機能を提供開始
5月20日	日立と長崎市での観光型MaaS実証実験に向け協業を開始
5月25日	車の中で快適にWeb会議ができる「移動会議室」の実証実験を実施
5月31日	三井E&Sマシナリーとゼンリンデータコムがドローン自動飛行による港湾クレーン点検技術を確立（ZDC）
6月3日	レイ・フロンティア株式会社と業務提携
6月22日	スカパーJSAT・ゼンリン・日本工営・QPS研究所- 福岡市実証実験フルサポート事業「宇宙」採択プロジェクト決定 衛星データを活用したため池モニタリング実証
6月23日	NTTタウンページ株式会社と業務提携

3-3) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

【2Q】

リリース日	タイトル
7月13日	みずほ銀行と法人向け統計データ流通における実証実験実施
7月14日	マップボックス・ジャパンとパートナーシップを締結（ソリューションの共同開発を目指す）
7月19日	長崎市と包括連携協定を締結
8月24日	マップボックス・ジャパンと国内地図サービス企業7社で、広告配信で連携する「マップアドネットワーク」を立ち上げ
9月15日	車いすユーザーの移動履歴を地図上で可視化した経路案内を開始 ～「ANA 空港アクセスナビ」に「バリアフリー地図/ナビ」機能を追加～
9月30日	日本発の提案、“ドローン用の地理空間情報に関する国際規格”が発行

【3Q～】

リリース日	タイトル
10月6日	ゼンリン、横浜ゴムと地図を活用したタイヤ空気圧遠隔監視システムの実証実験を開始
10月7日	ゼンリンデータコムとSO Technologies(株)が、『Area Marker』の店舗情報をGoogle マイビジネスに自動連携できるシステムを共同開発（ZDC）
10月12日	ゼンリン住宅地図対応 配達ドライバーサポートアプリ「配達アプリ」を「GODOOR」に名称変更 ～累計10万有料会員突破を記念して期間限定キャンペーンを実施！～（ZDC）
10月25日	大分県大分港にて三井E&Sマシナリーとゼンリンデータコムが4G(LTE)回線を利用した遠隔自動飛行ドローンによる 港湾クレーン遠隔点検に関する実証実験を実施（ZDC）

3-3) 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

2022年3月期 第3四半期決算

リリース日	タイトル
11月16日	大阪府堺市×民間5社で、堺市の地域活性化を促進「スマートシティに関する新たな移動支援等の構築に向けた連携協定」を締結
11月16日	自治体運営による長距離ドローン配送サービスを高精度な3D地図により実現（長野県伊那市）
11月16日	伊那市と株式会社ゼンリン 伊那市新産業技術推進に向けた連携に関する協定の締結について
11月17日	ゼンリンとNTTタウンページが共同開発したGISコンテンツの新商品「企業サーチデータ」の販売を、2021年11月17日(水)より開始
11月18日	全国初！ xR、自動運転、5Gによる「どこでもテーマパーク」実証事業がスタート！ ～北九州市八幡東区東田エリアが先進技術でテーマパークに～（ZDC）
11月26日	埼玉県秩父市で、日本初の災害発生時・平常時における複数のモビリティを融合した配送実証に成功
12月15日	離島・へき地を支える医療現場の課題解決へ 地図情報・位置情報をベースにした日本初のオンライン診療・ドローン配送システムを実証（大分県）
12月17日	埼玉県秩父市で山間地域をモデルとした遠隔医療の実証を実施
12月21日	福島県浪江町で避難解除区域含む全域を対象としたオンデマンド配車サービスおよび貨客混載の実証実験を開始
12月22日	マイクロMaaS第一弾、長崎市にて実証実験を開始
1月25日	人々がどこから来て、どこに向かうのかを可視化する人流データ『混雑統計®』のデータセット販売を開始

※詳細は当社ホームページをご覧ください(<https://www.zenrin.co.jp/information/>)

※ZFP:(株)ゼンリンフューチャーパートナーズ ZDC:(株)ゼンリンデータコム

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>
IR問い合わせMail: zenrin-ir@zenrin.co.jp